

帰路は東の大分側を下って
日本一美しい白水ダムから
竹田・大分・別府へ

2012.11.2.



別府

大分

菊池溪谷

久住山

大観峰

日本リモナイト

下扇原原・小野原遺跡

車塚1号墳

赤水駅

米塚

阿蘇神社

阿蘇ロープウェイ駅

草千里

阿蘇山ドライブウェイ入口

豊後萩町駅

豊後竹田

らくだ山公園

田楽保存会

岡城址

白川水源

白水ダム

(白水の溜池堰堤)

祖母山

「日本一美しいダム 白水溜池堰堤」

高速道路のSAでもらったMapに素晴らしい堰堤の写真
その美しさに家内と二人 帰りに是非立寄りたいた。

場所は豊後竹田 阿蘇からの帰りに行ける

地図を見ると 場所は記されているが、道がない。
ナビに名前を入れるが出てこない。住所は2つ 右岸・左岸の
両方が記載されていて、道が細いので 運転に注意とある。

ナビに住所を入れると道のない祖母山塊の山中に旗が立つ。
大きな地図帳の大野川の川筋に白水ダム・白水溜池溜池堰堤
の名がある。

案内が掲載されているのだから行けるはず。
豊後竹田へ向いて走って、途中で道を聞こう。
阿蘇から国道57号線を走って 途中 一番近そうな JR豊肥線の駅があ
る豊後萩町駅に立寄ればはっきり出来る。
是非立寄ろうといつになく二人の意見が一致。

阿蘇神社の参拝を済ませ、阿蘇谷の予定を全部済ませたのが、朝10時。
「時間はたっぷりある」と予定通り、白水溜池堰堤へ向かって 阿蘇を後
にする。

全く土地感のない場所ですが、流れ落ちる水の美しさに 気持ちはもう阿
蘇から白水堰堤に向いている。

国の重要文化財ということも全く知りませんでした、途中 教えてもら
いながら、ナビ併用で行き着きました。

掛け値なしに素晴らしい 水の流れ落ちる姿の美しさは やっぱり日本一

ダムサイトの左岸・右岸どちらにも 道はok なのですが、反対側へ行く
にはダムサイトの下を通り、堰堤の端の手すりのない急な狭い石段をよ
じ登らねばならず、要注意。(近くに橋はない)



はくすいためいけえんてい

⑤白水溜池堰堤

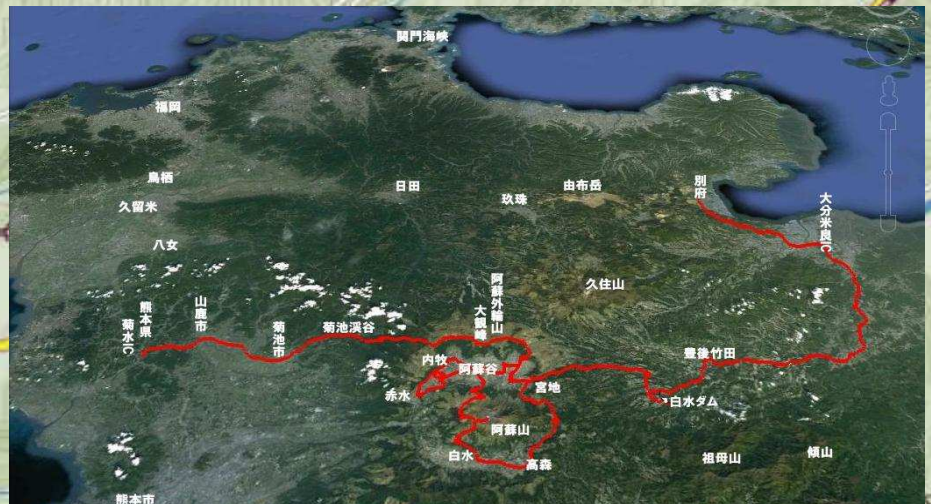
阿蘇の外輪山を水源として、大分県を東西
に流れる大野川に設置された堰堤。国の重
要文化財に指定されており、「日本一美しい
ダム」として広く知られる。通称白水ダムと
呼ばれ、流れる水が白いレースのような模
様を作り落ちていく姿は、時が経つのを忘
れるほどの美しさ。これは火山灰土で地盤が
弱い土地のため、水の流れを緩やかにする
工夫から生まれたもの。また、右岸と左岸
では石の積み方にも違う工夫があり、角度に
よって変わる眺めを楽しめるのも魅力。

●アクセス：大分自動車道 大分米良IC から車で約 100 分

④ 右岸：竹田市大字次倉 3732-2、3732-5

左岸：竹田市萩町鴨田 6225-3、6225-4

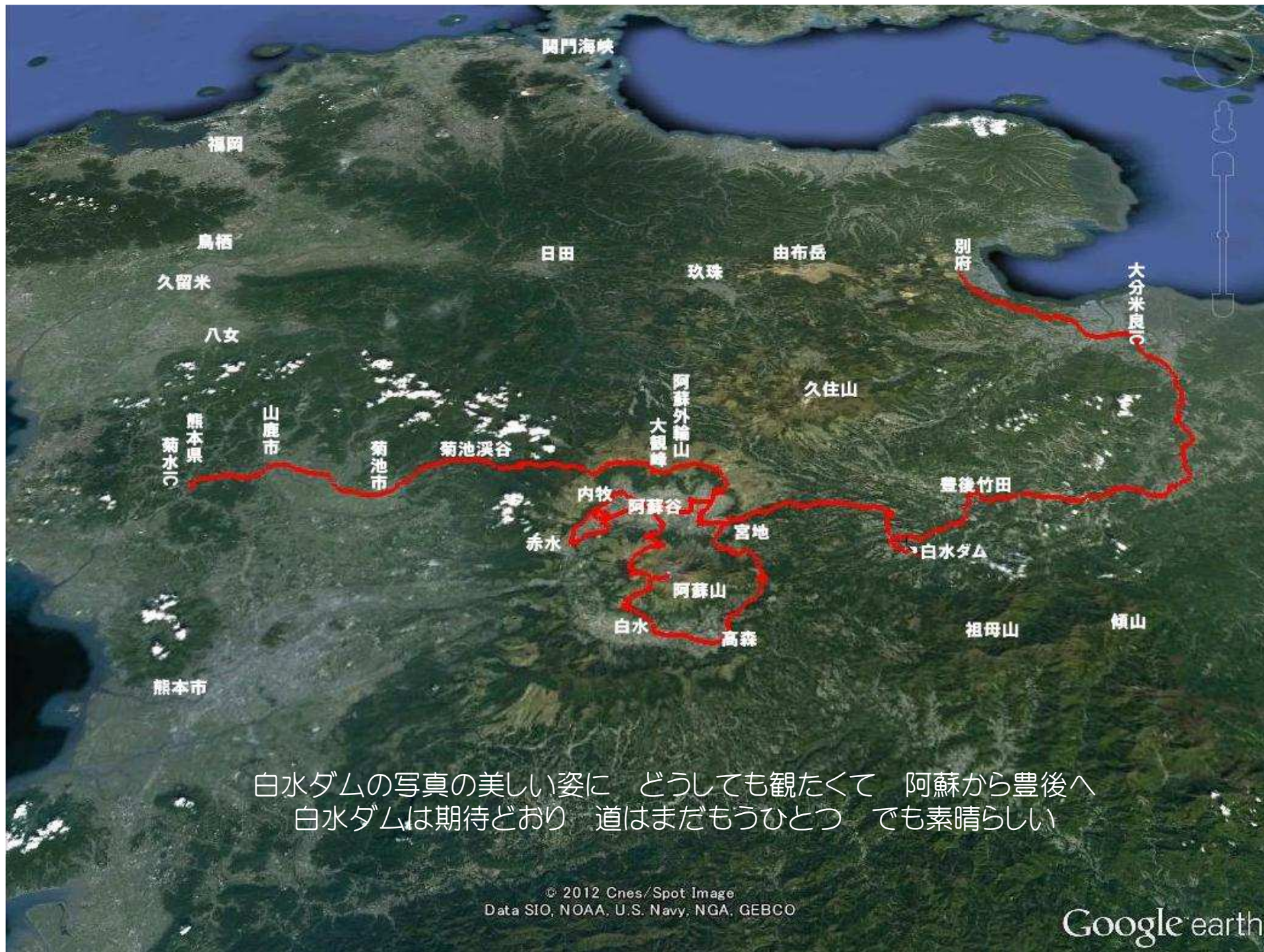




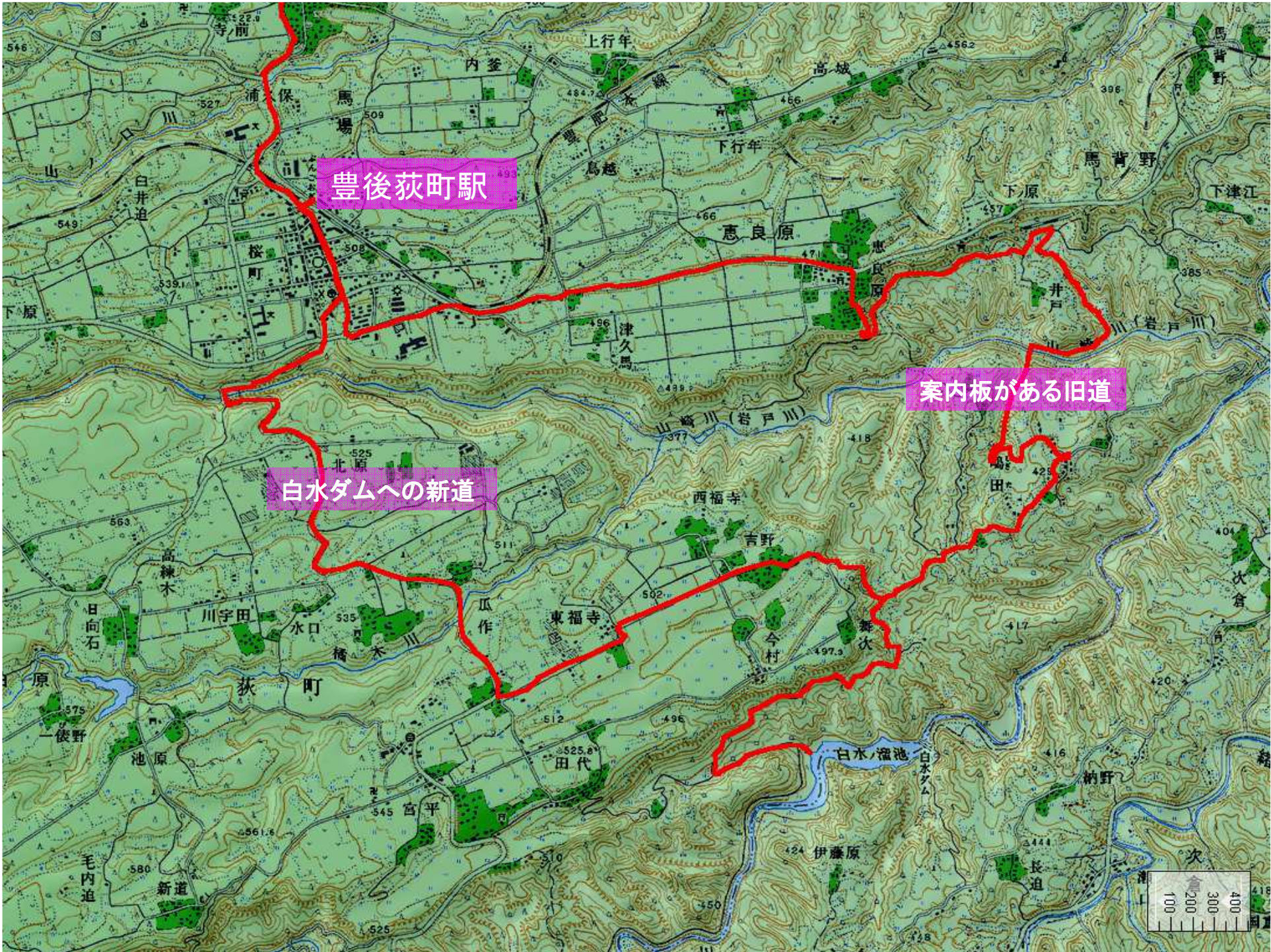
九州高速道路地図帳の名所に掲載されている「白水ダム」位置が記載されているのですが道がない。どないしてゆくのか???

ナビに入ると道のない所に旗 行けば何とかなるだろうと阿蘇と豊後を結ぶ豊肥本線の最近接駅「豊後荻町駅」へ 正解でした





白水ダムの写真の美しい姿に どうしても観たくて 阿蘇から豊後へ
白水ダムは期待どおり 道はまだまだもうひとつ でも素晴らしい





阿蘇谷を後にして、宮地駅前から
国道57号線豊後竹田方面へ外輪
山を越えて行く

2012.11.2.





大分 荻
Oita Ogi
↑ (57) →



カタマシリーズ 鉄鋼スラグを利用した農道

* この農道は平成22年2月25日に施工されました。
手前約50メートルは、農家の方々が施工した
製鋼スラグのみの **カタマLC** です。

* その先は業者による施工で、製鋼スラグと水砕・
微粒子のスラグを利用した **カタマXL** と、
製鋼スラグと水砕を利用した **カタマSP**、そして
一番奥が製鋼スラグのみの **カタマLC** です。

カタマLC (製鋼スラグ)	カタマXL (製鋼スラグ+水砕+ 微粒子製鋼スラグ)	カタマSP (製鋼スラグ+水砕)	カタマLC (製鋼スラグ)
農家	業者	業者	業者
100m	50m	50m	50m

製造開発者: 新日本製鐵株式会社大分製鐵所
販売者: 株式会社製鐵鉱業大分 TEL 097-553-2669



荻町駅へ向かう道で「白水ダム」の標識を見つけて ほっとする 2012.11.2.

また、知らなかったのですが、荻町はトマトの名産地 おいしいトマトが箱で買えました





現在地

荻町

白水溜池堰堤
(白水ダム)

荻町とまとMAP

白水ダムへの道がこのマップにもかかれていないが、新道も作られ、標識をたどってゆけば、この荻町から直接行ける。全く心配なし ダムの横に駐車場もあると案内所で教えてもらった




荻町グランドで 明日のトマトフェスティバルのイベント
かぼちゃの大きさ競争の計測が行われていました 2012.11.2.

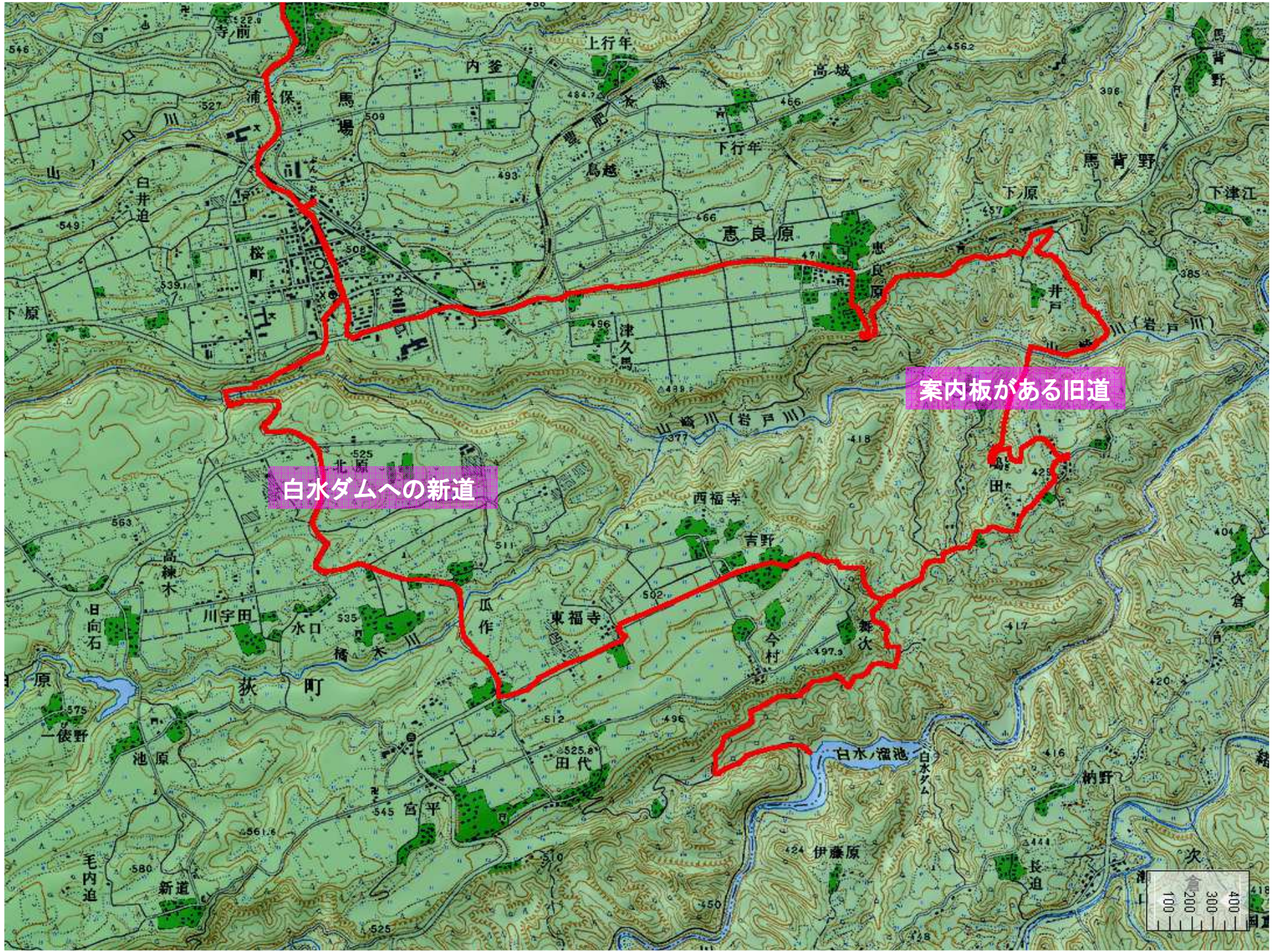




教えてもらってトマトを買い、再度 白水ダムへの道を確認する
標識もあるし、ナビに任せて 白水ダムへ



駅の案内所とは違う道と思いつつも しっかりした案内標識があるので安心ですが、 谷を幾つも越えてゆく細い道 やっぱりすごいなあとどんどん山の中へ入ってゆく。途中谷を越えると小さな集落もあり、これ別に道がありそうと…… でも 萩町から30分足らずで山深い白水ダムのダムサイトへ 帰りに判ったのですが、標識があるのは旧道 ダムの上流側に行けば、集落(舞次)のある広い道があって スムーズに萩町に帰ってきました。



白水ダムへの新道

案内板がある旧道





白水堰堤へ行く途中 祖母山の山並が眺められました 2012.11.2.





はくすいためいけえんてい

⑤ 白水溜池堰堤

阿蘇の外輪山を水源として、大分県を東西に流れる大野川に設置された堰堤。国の重要文化財に指定されており、「日本一美しいダム」として広く知られる。通称白水ダムと呼ばれ、流れる水が白いレースのような模様を作り落ちていく姿は、時間が経つのを忘れるほどの美しさ。これは火山灰土で地盤が弱い土地のため、水の流れを緩やかにする工夫から生まれたもの。また、右岸と左岸では石の積み方にも違う工夫があり、角度によって変わる眺めを楽しめるのも魅力。



日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2.

農耕への熱い思いが実らせた

白水溜池堰堤と水利施設一横

主堰堤・副堰堤・〈導水暗渠付〉・斜樋

管理用階段・付白水池碑〈昭和十三年〉一基

国指定重要文化財（平成十一年五月十三日）

竹田市と緒方町を流れる言士緒井路の用水に使われるダムです。

型式 重力式割石コンクリートダム、高さ十四・一m、長さ八

七・二六m、貯水量六〇〇、〇〇〇t貯水面積一〇ha

設計・監督小野安夫（県農業土木技師）平成五年九一歳で死亡
竣工 昭和十三年（一九三八）九月三十日

昭和九年から四年半の歳月をかけて完成している。人々の田畑を潤そうとする、農耕への熱い思いがなければ決して完成をみなかったであろう。官砥地区万田迫より取水して総延長十五kmの幹線水路をへて緒方町内の受益地に配水しています。安定した水を送るため、斜樋に工夫がなされています。水が足りなくなれば斜樋にある五つの蓋を、順番に開けることで調節できるようになっています。

溜池の側壁は水圧で痛みやすいので、左岸は階段状の石壁を、右岸は円周上を曲線状の石組みで仕上げています。水が増えたと左・右岸に沿って流れる水が、正面から流れ落ちる水の力を弱めるしくみになっています。一キロ下流にある取水口までの護岸にも役だっています。設計者と豊後石工の英知と苦勞、それにもまして芸術性を取り込んだ美的センスには頭の下がる思いがします。専門家をして「わが国でもつとも美しいダムのひとつ」であると言わせています。

平成十二年十月

歴史と文化を考える会



日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2.







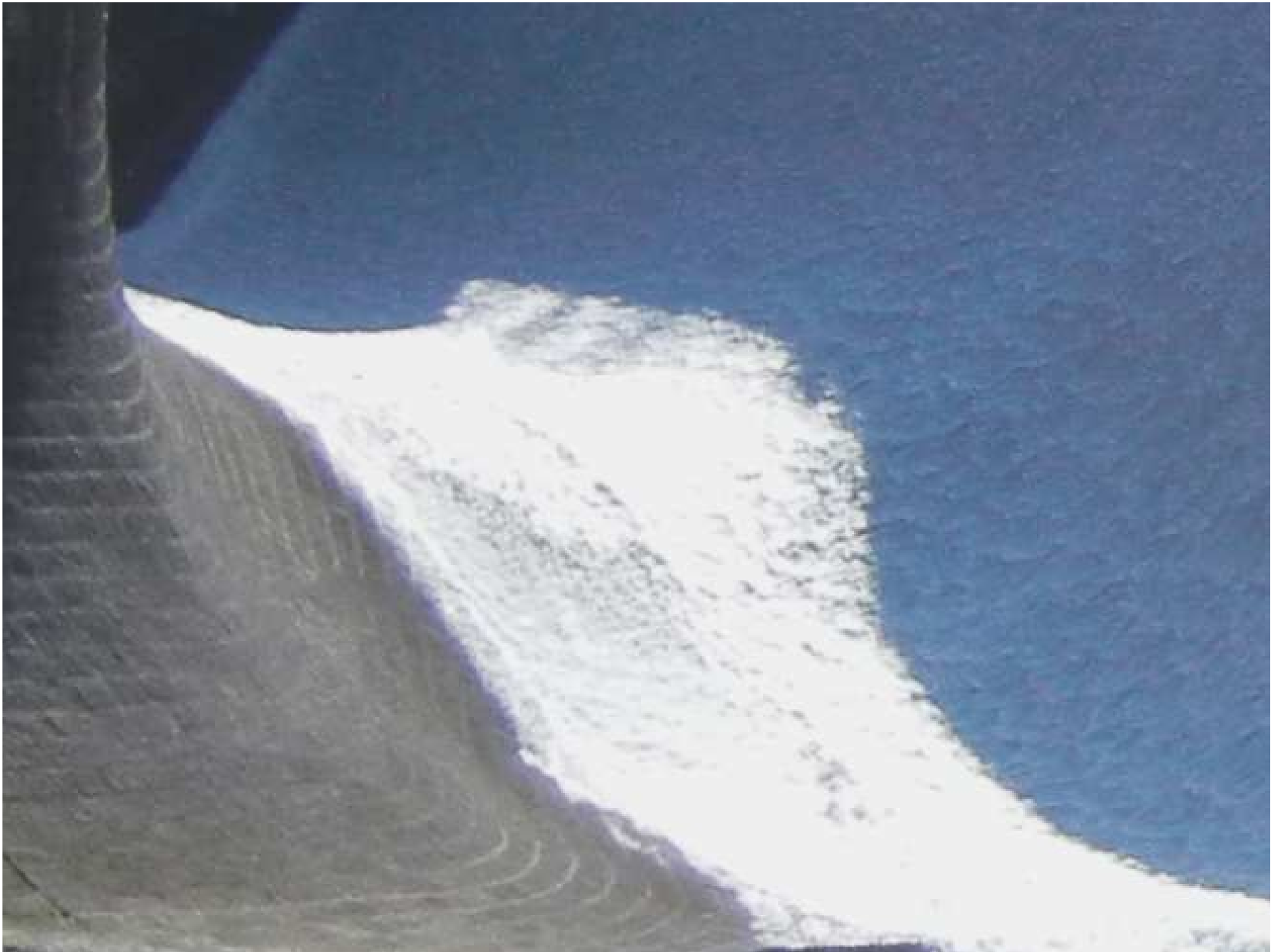






日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2.





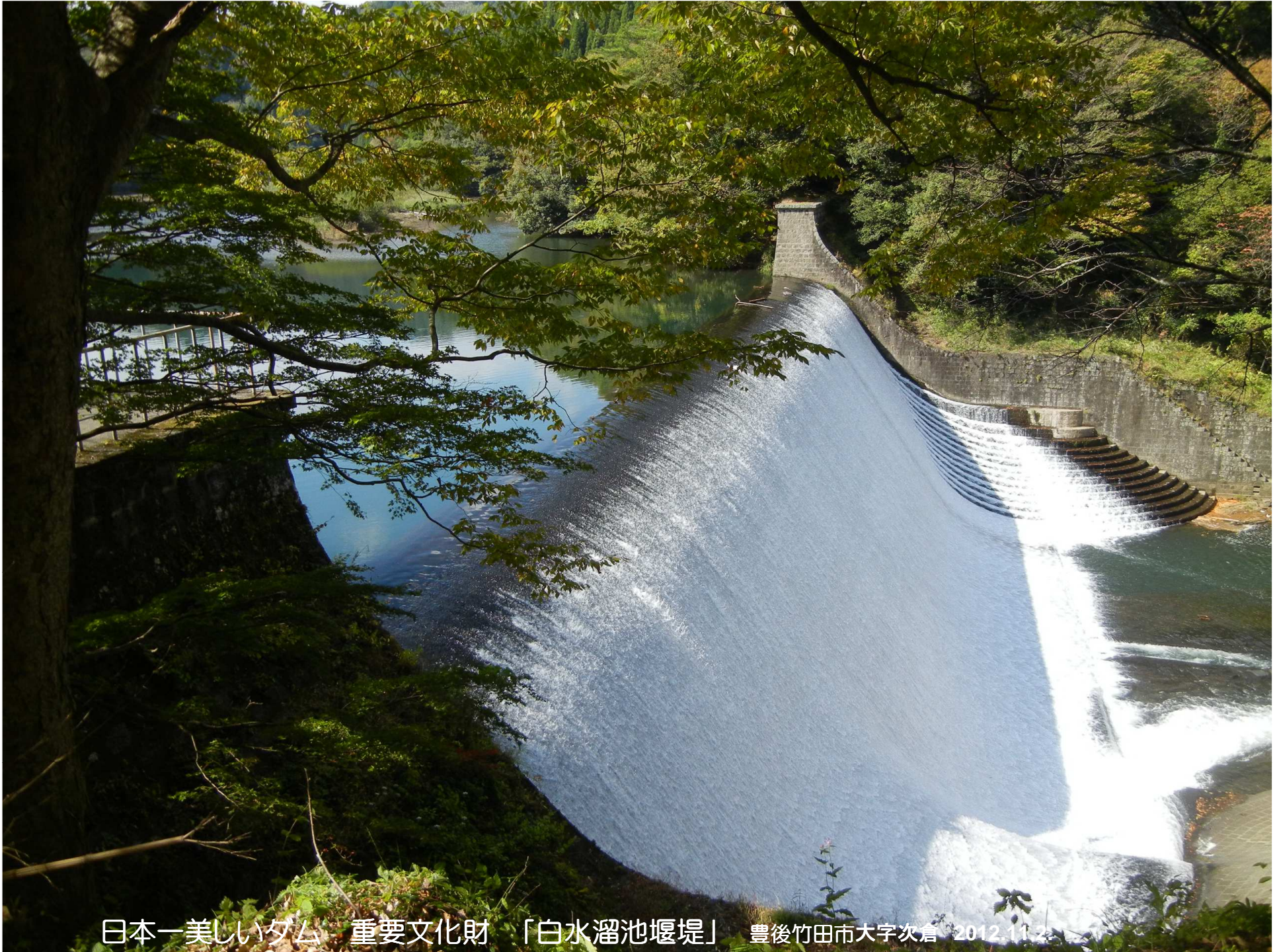








日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2.



日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2



日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2.







日本一美しいダム 重要文化財 「白水溜池堰堤」 豊後竹田市大字次倉 2012.11.2.











白水ダムの谷筋から尾根道にでると祖母山の山並が眺められました 2012.11.2.



東九州ドライブウェイ 左から由布岳 鶴見岳 高崎山 20102.11.2.



修学旅行で行った別府坊主地獄の記憶がないという家内のため途中下車 2012.11.2.











【参考した資料】

1. 愛媛大学東アジア古代鉄文化センター 第6回アジア歴史講演会「弥生時代の小さき鉄製加工具たち」
宮崎敬士氏「下扇原遺跡・小野原A遺跡」 村上恭通氏「中九州における弥生時代鉄製品研究の論点」ほか
2. 日本リモナイト home page <http://www.limonic.co.jp/>
3. 【和鉄の道】 1. 第6回アジア歴史講演会を聞いてより「阿蘇谷 大量に鉄を集積した集落 下扇原遺跡」2010.11.5.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010iron/10iron11.pdf>
4. 【和鉄の道】 2. 九州の縄文・古代文化を訪ねて 1. 熊本県菊池川流域の装飾古墳群 2004.10.6.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/walk/2walk09.pdf>
5. 【和鉄の道】 3. 九州 古代の豊の国から阿蘇へ 鉄の国「豊(豊前・豊後)」臼杵石仏を作らせたのは炭焼き長者 ???
<http://www.infokkng.com/ironroad/dock/iron/6iron07.pdf>

私の阿蘇谷「阿蘇黄土」2012.11.1.&11.2. by Mutsu Nakanishi
阿蘇谷にベンガラ^{福岡}の原料「阿蘇黄土」を訪ねました
また、帰りに日本一美しい姿ダム 豊後竹田 白水ダムへも

〔おしまい〕

卑弥呼が魏に送った「神聖な赤 丹」は「阿蘇谷のベンガラ」との説がある
阿蘇谷のベンガラは かつて火口湖の時代に形成された大量に鉄分を含む「阿蘇黄土」とよばれる濁鉄鉱
このベンガラの郷 阿蘇谷に弥生の後期 大量に鉄を集積した集落が幾つも出現した
日本での製鉄開始にこの阿蘇黄土が役割を演じたのではないか…
まだ その証拠はないが 日本誕生のロマンを秘めた「鉄のふるさと 阿蘇谷」である